

3. 物流機能の強化と再編

港湾間における適切な機能分担と連携のもと、安価で確実な輸送を提供するため、老朽化施設の更新、交流機能と物流機能の分離、防災機能への対応などを進め、地域の貨物取扱いの効率化を図るとともに、東京湾口部に位置する地理的特徴を活かした内貿ユニットロードの強化を目指し、大分航路の拡充を進めつつ、長期的には内貿ユニットロード拠点形成を目指します。

要請・背景

- 在来公共貨物の取扱い確保
- 老朽化施設への対応
- 周辺土地利用と整合したふ頭配置
- 東京湾口部を活かした内貿ユニットロードへの対応

対応

- 施設の集約、大型船への対応
- 周辺環境に配慮した施設整備
- 既存航路の利用促進及び将来の整備を検討する区域の位置付け

施設の集約、大型船への対応 (久里浜地区)



- ・老朽化に対応した施設の更新
- ・防衛施設用地の港湾施設への転用
→ 岸壁水深5.5m 200m (2B)
ふ頭用地2.2ha (新規)

施設の集約、大型船への対応 (長浦地区)



- ・地区内の砂・砂利の取扱いの集約
- ・船舶の大型化への対応
→ 岸壁水深7.5m 130m
(耐震強化岸壁)
- ・防衛施設へ転換
岸壁水深5.5m 100m

